

東京 IPO 特別コラム

2018年12月17日 Vol.134

ソフトバンク上場前の前哨戦

19日のソフトバンク（9434）株の上場を前にして師走の株式市場には期待と不安が渦巻いています。全体相場は相変わらず下値模索が続き、多くの銘柄が年初来安値を更新している中での超大型銘柄の上場について市場ではポジティブな見方とネガティブな見方が錯綜。公開価格1500円を初値が維持できるのか、初値をつけた後の株価動向も含めて市場関係者」の意見は2つに分かれているように感じられます。

孫社長への信頼がベースとなるソフトバンクグループ（9984）とその子会社である国内携帯通信会社ソフトバンクの上場は親会社に2兆6000億円の資金を提供しますので18兆円余りの有利子負債を抱え、海外の様々なAI企業への投資を行う予定の親会社にとっても極めて重要なイベントと言えます。

その上場を前に起きた一連の出来事は、多くの市場関係者からしてみますと本来なら同社の上場がすんなり許されない重大な出来事のように感じられているのではないのでしょうか。一つはソフトバンク携帯が北欧のエリクソン社製通信機器の問題で4時間余りにわたってつながらなくなったこと。同社の皆さんの中にも不便を感じられた方も多いのかも知れません。今回の上場前に起きたこの出来事はこれだけでも上場に際してのネガティブな要因であり、今後の業績についての影響を投資家は注視する必要があります。また、米中貿易摩擦を背景にした中国の通信機器メーカー、ファーウェイのCFO逮捕とその後の政府によるファーウェイ製品の導入禁止措置の発令は今後のソフトバンクの5G戦略にとっての妨げになる事象かと思われまます。上場前ではなく上場後にこうしたことがクローズアップされることが予想されますので市場での株価の行方には暗雲が漂い始めていると言っても良さそうです。もちろん持分の4割をお金に変えた孫社長の携帯事業への情熱はその分薄れていると言えますのでネガティブな印象が持たれても不思議ではありません。

一方では、孫社長が株主総会などで熱く語っておられるAI群戦略の推進、ビジョンファンドでの世界的AI企業への投資が携帯キャリアとしてのソフトバンク自体にも多大なメリットをもたらす可能性もあって他の携帯キャリアとの差別化がどういう形で進むのかにも期待が寄せられます。既に米国籍を保有し、日本のほかのどの経営者よりも先進的でグローバルな活動を続ける孫社長流の300年成長企業戦略の果敢な攻めが今回の資金調達によって実現されるのであれば大いに評価に値します。

ソフトバンク株の上場に関心が高まる中、今月11日以降、IPO市場には続々とニューフェイスが登場。合計20銘柄の12月のIPO銘柄のうち、17日までに7銘柄の売買が開始されています。さすがに市場全体に需給関係が悪いので初日に値が付き、ついたらすぐに値を消す展開が見られますが、ワンチャンスを狙っての短期投資家の投げが株価に反映される状況が見られます。こうした投資家の行動は直近IPO銘柄にも波及しています。ソフトバンク上場前の前哨戦となっている12月のIPO

東京 IPO 特別コラム

〇銘柄について以下、株価のチェックをしてみましたので参照して頂ければ幸いです。

〔11日〕 AI 関連人気が底流にありピアラは人気化、アルーは本日安値をつける

①ピアラ (7044) M 公開価格 2550 円 時価総額 89 億円

初値 5030 円 安値 4030 円 高値 6140 円 17 日終値 4510 円

ECマーケティング事業及び広告マーケティング事業、AI活用マーケティング

今 12 期 3Q 経常利益 2.5 億円、通期 3.5 億円

②アルー (7043) M 公開価格 1370 円 時価総額 34 億円

初値 2010 円 高値 2235 円 安値 1458 円 17 日終値 1483 円

人材育成データ、機械学習技術等を活用した社会人向け教育サービスの提供

今 12 期 3Q 経常利益 1.6 億円 通期 1.5 億円

〔12日〕 初値公開価格割れのアルテリア

③アルテリア・ネットワークス (4423) 東 1 公開価格 1250 円

時価総額 625 億円 初値 1190 円 安値 1150 円 高値 1300 円

17 日終値 1251 円 インターネットサービス、ネットワークサービス マンション

インターネットサービス 今 3 月期中間期経常利益 35 億円 通期 74 億円

比較：ビジョン (9416) 3965 円 時価総額 647 億円 (予想経常利益 23 億円)

〔13日〕 2 日目にストップ高、3 日目に公開価格割れの乱高下を演じたオーウェル

④オーウェル (7670) 東 2 公開価格 750 円 時価総額 79 億円

初値 855 円 安値 732 円 高値 926 円 17 日終値 736 円 時価総額 78 億円

塗料・表面処理剤、各種工事請負 半導体・電子部品、LED 照明などの生産財を取り扱うグローバル商社 今 3 月期売上高 670 億円 経常利益 14.8 億円

予想 EPS 97.5 円 同 PER 7.5 倍 PBR 0.39 倍

今期予想配当金 20 円 配当利回り 2.7%

3 日間の出来高合計は 1350 万 4300 株 (公募株数の 8.3 倍) に上る。

発行済み株式数 1050 万株 公募株数 162.8 万株 売出し株 0

先週末に一時ストップ高買い気配をつけたが引けにかけ売られ、本日も引けにかけ続急落の展開。今後も出来高を伴って乱高下が想定される。

⑤FUJI ジャパン (1449) 札ア 公開価格 740 円 時価総額 5 億円

初値 907 円 高値 981 円 安値 732 円 17 日終値 780 円 比較的安く寄り付

いたが、不人気で初値後は公開価格割れまで売られる展開。黒字企業だが時価総額は 5.3 億円と小さい。北海道を地盤に外壁リフォーム工事業を展開するほか関東エリ

アに注力。今 12 期経常利益 0.49 億円 EPS 56 円 PER 13.9 倍

東京 IPO 特別コラム

[17日] 上場後に大幅調整のグッドライフと値もちが良かったツクイスタッフ

⑥グッドライフカンパニー(2970) JQ 公開価格 1600円 時価総額 22億円
初値 1951円 高値 1963円 安値 1666円 17日終値 1727円
投資用マンションの企画開発事業 初値後に早くも調整の動き。

⑦ツクイスタッフ(7045) JQ 公開価格 2630円 時価総額 39.5億円
初値 4030円 安値 3865円 高値 4325円 17日終値 4200円
介護・医療に特化した人材サービス事業 今期予想経常利益 5億円

[18日] AI関連のテクノスデータSEに関心向かうか。

⑧田中建設工業(1450) JQ 公開価格 2400円 時価総額 51億円
予想初値 2600円 中間期EPS 180円 通期予想 227円 予想経常利益 7億円
建築構造物の解体工事並びにそれに付随する各種工事の施工監理
中間期実績経常利益 5.68億円

⑨テクノスデータサイエンス・エンジニアリング(7046) M
公開価格 3200円 時価総額 70億円 予想初値 6000円
ビッグデータ・人工知能(AI)を活用したソリューション提供およびAI製品の提供
テクノスジャパンの持分法会社

ソフトバンクの上場前の前哨戦はやや上値の重さを感じられます。短期指向で各銘柄とも乱高下の動きが見られます。ソフトバンク上場日の19日にはAI関連のKudan(4425・公開価格 3720円)、21日にはドローン関連の自律制御システム研究所(6232)がマザーズ市場にIPOを予定しています。時価総額はやや高めではありますが、関心を高めると期待されます。

(東京IPOコラムニスト 松尾範久)